

三重大学社会連携研究センター研究展開支援拠点

産学官連携による
イノベーション創出の場

三重大学社会連携研究センター研究展開支援拠点は、地域社会の活性化のために学内外の研究者に高度な分析機器を開放し、研究・開発支援を行いながら地域の企業や行政と連携し、地域産業のイノベーション創出に貢献していきます。

「研究展開支援拠点」は、地域産業界全体が連鎖的にイノベーションを誘発し、地域社会の活性化に貢献することを目的として、2011年4月に三重大学社会連携研究センター内に新たに設立されました。当拠点は、本学生命科学研究支援センターから移行した「機器分析部門」と「みえ“食発地域イノベーション”創造拠点」(独立行政法人科学技術振興機構[JST]地域産学官共同研究拠点整備事業)の食品素材探索ラボおよび事務局の役割を担う「地域研究支援部門」の二つの部門からなっています。それぞれの部門には最新の大型分析機器を多数配備し、学内外の研究者の方々に高度分析を中心とした研究・開発支援を行っています。当拠点は地域産業界のパートナーとして、地域社会の活性化に貢献することを目指しています。

「機器分析部門」は、生命科学研究支援センター機器分析部門を移行し、本学の教員、学生および研究生が、自身や企業等と共同で実施する分析・計測技術の研究開発等の支援を主体に行っています。「地域研究支援部門」は、2010年に三重県と三重大学とで申請した、JST地域産学官共同研究拠点整備事業「みえ“食発地域イノベーション”創造拠点」の事業採択に伴い、食品素材探索ラボおよび事務局の役割を担う部門として設立されました。当部門は県内公設試験研究機関と連携して、「食」を軸にした、農林水産業から食品生産・加工および食品以外の製造業まで幅広い産業分野の事業者・企業に対して「食の高度化」を共通課題とした支援を行っています。

さらに、当拠点には、大学の研究者と企業とで両部門の機器を効果的に活用してプロジェクト研究が遂行できるよう、二つのインキュベーションラボを設置しました。既に、一つのラボには県内の有力機能性食品素材メーカーである辻製油(株)と本学医学系研究科の西村訓弘教授がプロジェクト研究室「辻H&Bサイエンス研究室」を立ち上げ、食品中の機能性成分の研究・開発に取り組んでいます。また、このプロジェクト研究室は本学地域イノベーション学研究科が提唱している、企業との共同研究を通して実践的な指導を行う「On the Project Training」教育を行う場ともなっており、現在、同研究科博士後期課程2年の学生が「辻H&Bサイエンス研究室」の開発

課題の一つを自身の研究テーマとして、同研究科教員ならびに同ラボ研究開発責任者の指導のもと、新規機能性食品原料の研究・開発に取り組んでいます。

このように、当拠点は、技術支援・共同研究・人材育成の拠点であると同時に、地域内における研究開発を総合的にコーディネートする機能も兼ね備えています。本拠点の整備によって、三重県内の多種多様な産業による連鎖的な地域イノベーションが誘発される効果が期待されます。



社会連携研究センター研究展開支援拠点の外観

三重大学社会連携研究センター研究展開支援拠点の体制図



三重大学社会連携研究センター研究展開支援拠点

<http://www.crc.mie-u.ac.jp/mie-crди/>

お問い合わせ先
 [機器分析部門] TEL: 059-232-1211 FAX: 059-231-9680
 [地域研究支援部門] TEL & FAX: 059-231-9873

T O P I C S

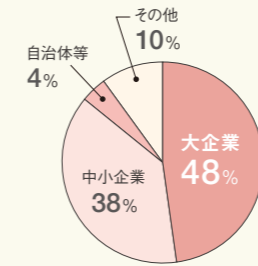
三重大学の研究と研究活動を通じた社会との連携

三重大学は教育と研究の成果を社会に還元するために、産業界や地域の公共団体との共同研究等の連携活動を推進しています。大学は、この連携によって、地域の文化の向上や活性化に貢献していきたいと考えています。

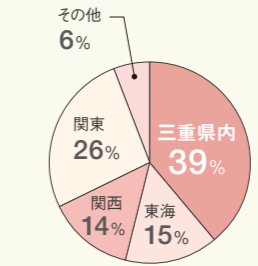
◎平成23年度共同研究の分類



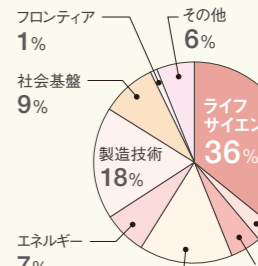
[共同研究相手先の規模等]



[共同研究相手先の所在地]



[共同研究の分野]



◎平成24年度大型研究(1,000万円以上の共同研究、受託研究)

事業名	研究題目	契約相手方	学部等名	研究代表者名
○戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○革新的高エネルギー蓄電システムの開発	○独立行政法人科学技術振興機構	工学研究科	今西誠之
○研究成果展開事業(研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP))	○新世代全固体フレキシブルリチウム二次電池の開発	○独立行政法人科学技術振興機構	工学研究科	武田保雄
○先天性代謝異常検査事業	○先天性甲状腺機能低下症・先天性副腎過形成症	○三重県	医学系研究科	駒田美弘
○戦略的創造研究推進事業(ERATO)	○バイオナノトランスポートを応用したがん免疫療法の研究開発	○独立行政法人科学技術振興機構	医学系研究科	珠玖 洋
○次世代がん研究戦略推進プロジェクト	○「効果的な複合免疫療法の確立」(T細胞養子免疫療法における投与T細胞と免疫効果の評価による治療戦略の構築)	○文部科学省	医学系研究科	池田裕明
○地球規模課題国際研究ネットワーク事業(国際共同研究等の推進)	○バイオマス資源の持続的生産・活用技術の開発	○農林水産省	生物資源学研究科	江原 宏
○戦略的創造研究推進事業(CREST)	○有用フィケミカル活用のための大型褐藻類対応プラットフォーム技術の開発	○独立行政法人科学技術振興機構	生物資源学研究科	柴田敏行
○イノベーション創出基礎的研究推進事業<技術シーズ開発型>	○トランスクリプトーム解析とセルロソーム再構築/ブタノール生産菌の創製	○独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター	生物資源学研究科	三宅英雄
○地球温暖化対策技術開発等事業	○相分離変換法を用いた木質バイオマスの全量活用型低コストエタノール製造技術実証研究	○環境省	生物資源学研究科	松岡正光
○「チーム「ニッポン」マルチサポート事業」<研究開発プロジェクト>	○酸素濃度調整マスクの開発	○文部科学省	教育学部	杉田正明

(2012年4月現在)

◎平成22年度共同研究

[件数による順位]

順位	法人名	共同研究件数	順位	法人名	共同研究件数
1	東京大学	1,473	11	広島大学	334
2	京都大学	861	12	信州大学	284
3	大阪大学	859	13	神戸大学	279
4	東北大学	854	14	筑波大学	267
5	九州大学	659	15	早稲田大学	255
6	北海道大学	483	16	千葉大学	253
7	名古屋大学	448	17	東京農工大学	252
8	東京工業大学	439	18	三重大学	246
9	慶応義塾大学	362	19	名古屋工業大学	214
10	大阪府立大学	350	19	鳥取大学	214

[金額による順位]

順位	法人名	共同研究受入額(千円)	順位	法人名	共同研究受入額(千円)
1	京都大学	6,229,131	11	神戸大学	652,430
2	東京大学	5,237,695	12	筑波大学	592,389
3	東北大学	2,955,661	13	早稲田大学	506,956
4	大阪大学	2,806,862	14	東京農工大学	456,917
5	九州大学	1,938,307	15	東京理科大学	443,718
6	慶応義塾大学	1,906,250	16	千葉大学	441,368
7	東京工業大学	1,579,643	17	名古屋工業大学	428,396
8	名古屋大学	1,359,341	18	三重大学	387,868
9	北海道大学	1,096,865	19	九州工業大学	362,673
10	広島大学	743,602	20	東京医科歯科大学	354,582

(文部科学省HPデータより)